

# 出雲崎町地域公共交通計画

(令和6年度～令和10年度)



令和6年6月

出 雲 崎 町



# 出雲崎町地域公共交通計画 目次

## 第1章 計画の概要

1 計画策定の背景・目的 .....	1
2 計画の区域 .....	1
3 計画の期間 .....	1
4 計画の位置づけ .....	1
5 上位計画と関連計画 .....	2

## 第2章 地域の状況

1 位置・地勢・自然 .....	5
2 人口 .....	6
3 日常生活圏 .....	8
4 観光 .....	9
5 運転免許証の保有状況等 .....	10

## 第3章 公共交通の現状

1 鉄道 .....	14
2 路線バス .....	15
3 にしやま・いずもざき通勤通学ライナー .....	17
4 デマンド交通 .....	18
5 タクシー .....	20
6 その他の交通 .....	22

## 第4章 地域公共交通に関するアンケート調査

1 アンケート調査の概要 .....	23
2 アンケート結果の概要 .....	24

## 第5章 公共交通の課題の整理

1 公共交通の課題 .....	25
-----------------	----

## 第6章 公共交通計画の目標

1 公共交通計画の目標 .....	26
2 出雲崎町が目指す公共交通体系 .....	27

## 第7章 目標達成するために行う施策

1 事業の詳細 .....	29
---------------	----

### 資料編

- ・出雲崎町地域公共交通に関するアンケートについて

## 第1章 計画の概要

### 1 計画策定の背景・目的

私たちの日常生活は、「移動」の上に成り立っています。こうした日々の移動において、公共交通機関や自家用自動車は不可欠であり、買物・通院・通学など、日常生活における移動手段の確保は大きな課題となっています。

出雲崎町では、鉄道・バス・タクシーの既存の公共交通に加えて、平成31年4月からデマンド交通「てまりん」の運行を開始し、町民の移動手段の確保を図っています。

しかしながら人口減少や少子高齢化の進展により、公共交通の利用者は減少し、民間交通事業者の経営努力のみに依存して維持していくことは難しくなっており、コロナ禍によりその状況が加速しました。そのため、移動手段の確保において地方公共団体が果たす役割は大きくなってきています。

そのような中、出雲崎町においても将来にわたって持続可能な地域公共交通網の構築を目指し、地域の実情に合った地域公共交通の持続的な提供を行うことができるよう、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たす「出雲崎町地域公共交通計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

### 2 計画の区域

出雲崎町全域を対象とします。

### 3 計画の期間

5年間（令和6年度～令和10年度）とします。

### 4 計画の位置づけ

本計画は、まちづくりの基本方向及び将来像を示す「出雲崎町総合計画」を踏まえた地域公共交通のマスタープランとして位置づけられます。

また、地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光振興、商業、健康・医療、福祉・介護、教育、環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすことから、「出雲崎町総合戦略」などの各種計画や過疎地域としての特性から「出雲崎町過疎地域持続的発展計画」といった他計画との連

携・協調を図ります。

## 5 上位計画と関連計画

### (1) 第6次出雲崎町総合計画（令和4年度から令和12年度）

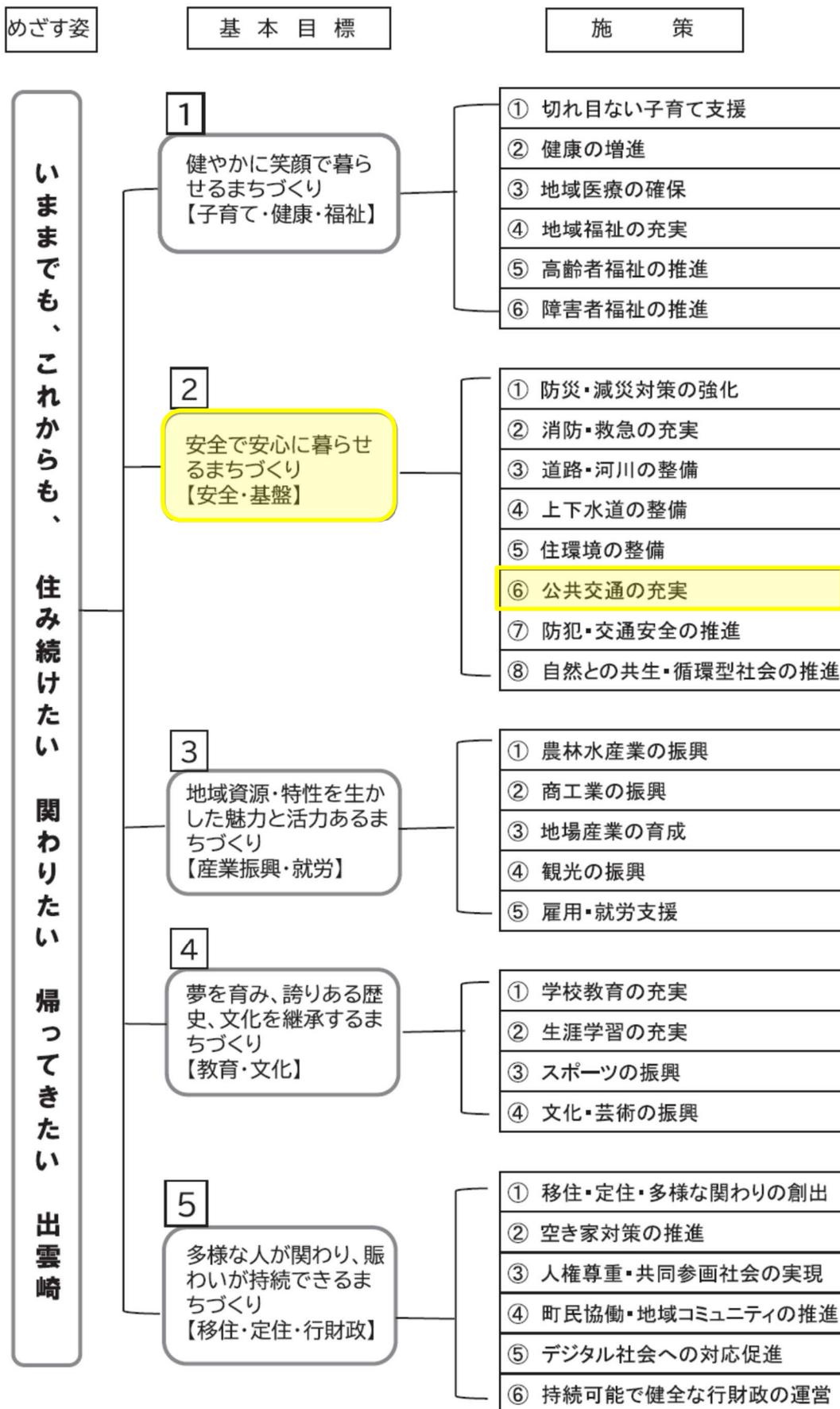
令和4年度から令和12年度を計画期間とする「第6次出雲崎町総合計画」では、「いままでも、これからも、住み続けたい 関わりたい 帰ってきたい 出雲崎」を将来像（町のめざす姿）として、5つの基本目標に沿ってまちづくりの方向性を示しています。

公共交通関係では、基本目標2「安全で安心に暮らせるまちづくり」の施策「⑥公共交通の充実」として、鉄道、路線バスの適正運行を関係機関と連携して維持するとともに、町民の移動を確保するために、きめ細やかなニーズに対応した公共交通体系を構築することとしています。

いままでも、これからも、  
住み続けたい 関わりたい 帰ってきたい 出雲崎

- 出雲崎に生まれ、育ち、出雲崎に「住み続けたい」と思う人たち
- 出雲崎の魅力に気づき、出雲崎で「住み続けたい」と思う人たち
- 出雲崎のヒト、コト、モノに多様な形で「関わりたい」と思う人たち
- 出雲崎を離れたが、ふるさと出雲崎に「帰ってきたい」と思う人たち

町民をはじめ、出雲崎町に関わる様々な人たちが、恵まれた自然と誇りある歴史・文化のなかで、「いままでも、これからも、住み続けたい 関わりたい 帰ってきたい 出雲崎」を、出雲崎町のめざす姿として、みんなとともに創り上げたいと思います。



**(2) 第2期出雲崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度から令和6年度)**

令和2年度から令和6年度の5年間の計画期間とする「第2期出雲崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現を目指すため3つの基本目標を設定し、多様な関係者と連携して、総合的に地方創生に取り組み、各種施策を推進することとしています。

また、「人口ビジョン」では人口の将来展望を示しており、地域公共交通と人口の将来展望は相互の関わりが大きいことから、総合戦略との連携・調整を図る必要があります

**基本目標1****若い世代の希望をかなえる町づくり****基本目標2****様々な人が関わり、訪れ、交流する町づくり****基本目標3****地域の資源を活かした魅力ある町づくり****(3) 出雲崎町過疎地域持続的発展計画(令和3年度から令和7年度)**

令和3年度から令和7年度の5年間の計画期間とする「出雲崎町過疎地域持続的発展計画」では、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源などを活用した地域活力の更なる向上の実現を目的として、地域の持続的発展の基本方針を3項目設定しています。

過疎地域という地域性を考慮しつつ、出雲崎町の特性にあった地域公共交通体系を検討するため、過疎計画との連携・調整を図る必要があります。

**ア 地域特性を生かした生業の創出と産業の振興****イ 住んでみたい、住み続けたいと感じられる安全・安心な暮らしの整備****ウ 誇りある地域資源を生かした魅力と特色あるまちづくりの推進**

## 第2章 地域の状況

### 1 位置・地勢・自然

出雲崎町は、新潟県のほぼ中央に位置し、長岡市、柏崎市に隣接しており、約9kmに及ぶ海岸線を有し、佐渡と対峙しています。総面積は44.38km<sup>2</sup>で、このうち森林面積が約68%を占めています。

地区は大きく二つに分けることができ、海岸地区及び駅前地区があり、海岸地区では、国道352号及び国道402号に沿って約3.6kmにわたり帯状に住宅地が形成されています。

また、駅前地区は中央部をJR越後線及び国道116号が町内を縦貫しており、出雲崎駅周辺に住宅地が形成されています。その他の集落は、樹枝状の沢々に点在しています。

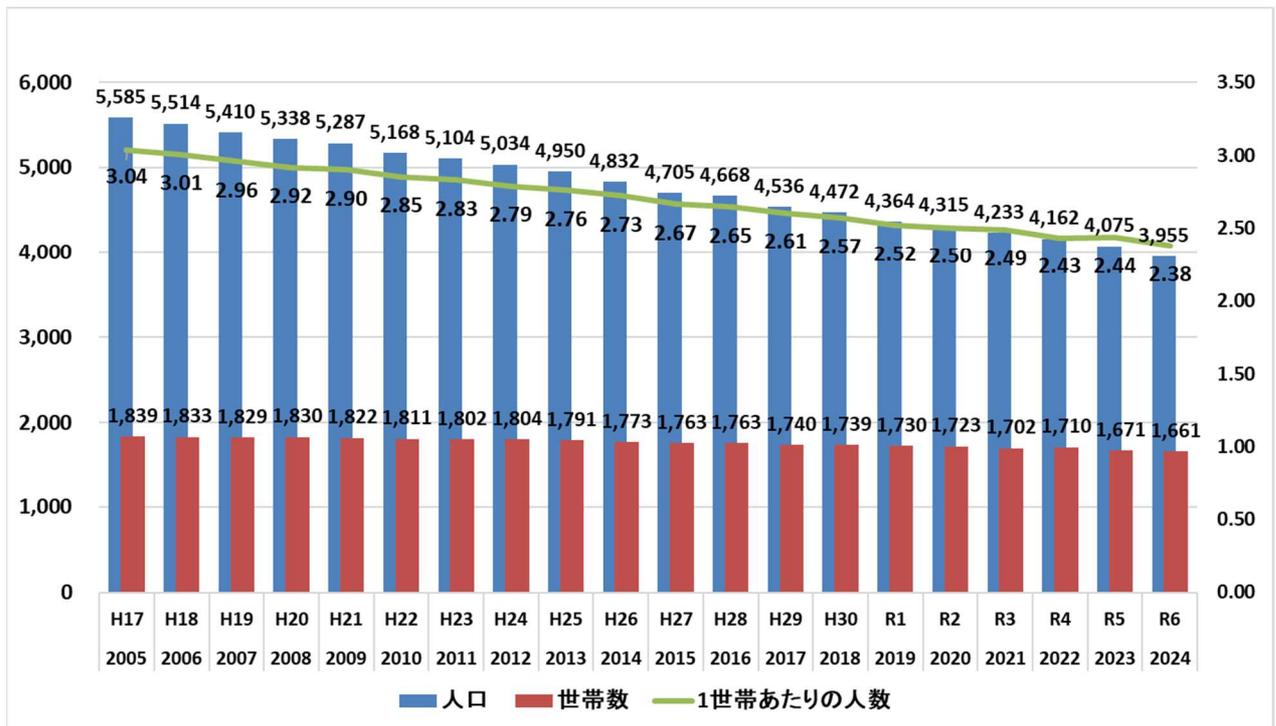
隣接する長岡市及び柏崎市の市街地まではいずれも車で30分程度の位置にあることから、住民の生活圏域及び経済圏域はこれらの近隣市との結び付きが強くなっています。また、北陸自動車道長岡北スマートIC及び西山ICまで車で約15分の距離にあり、県内各地や首都圏や東北、北陸方面のアクセスに恵まれています。

気象は、冬期は冬型の気圧配置が影響して、海岸部では北西の季節風が強く、内陸部に入るにしたがって弱くなりますが、風の影響により電車の運休が発生することがあります。平成30年度から令和4年度までの5年間の平均最大降雪量は52.4cm、平均最大積雪深は66.2cmと新潟県内においては比較的少なく、年平均気温は14.9℃、年平均降水量は2,080mmとなっています。

## 2 人口

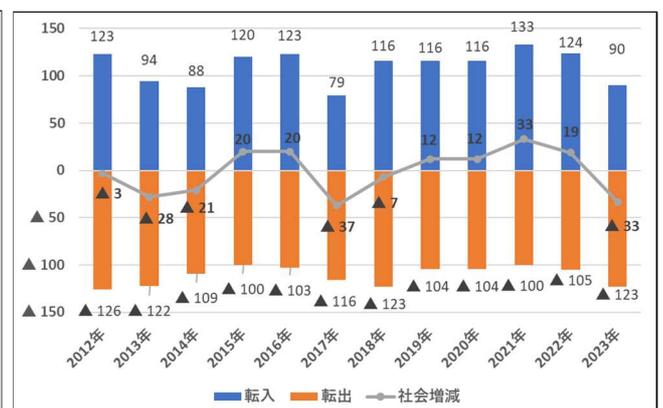
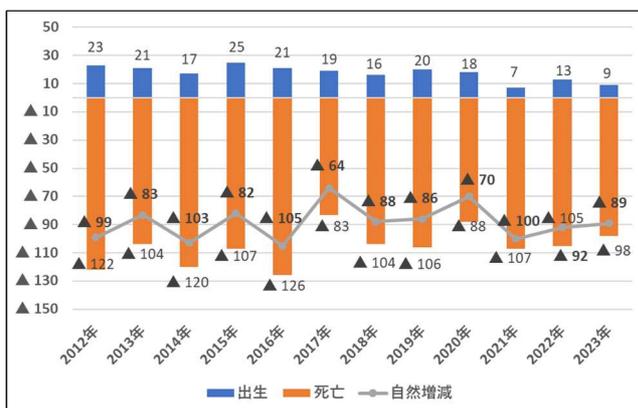
### (1) 人口・世帯数

出雲崎町の人口は、昭和32年の町村合併以来、減少の一途をたどっており令和6年4月には3,955人となっています。また世帯数も減少傾向となっており、令和6年4月には、1,661世帯となっています。1世帯あたりの人数は、20年間で3.04人/世帯から2.38人/世帯に減少しています。



※住民基本台帳（各年4月1日）

自然動態は、年間約100人程度の減少となっています。社会動態は、令和1（2019）年から令和4（2022）年の4年間は、社会増となっていますが、自然動態の減少数が大きいいため、人口は、年間約70人程度の減少が続いています。



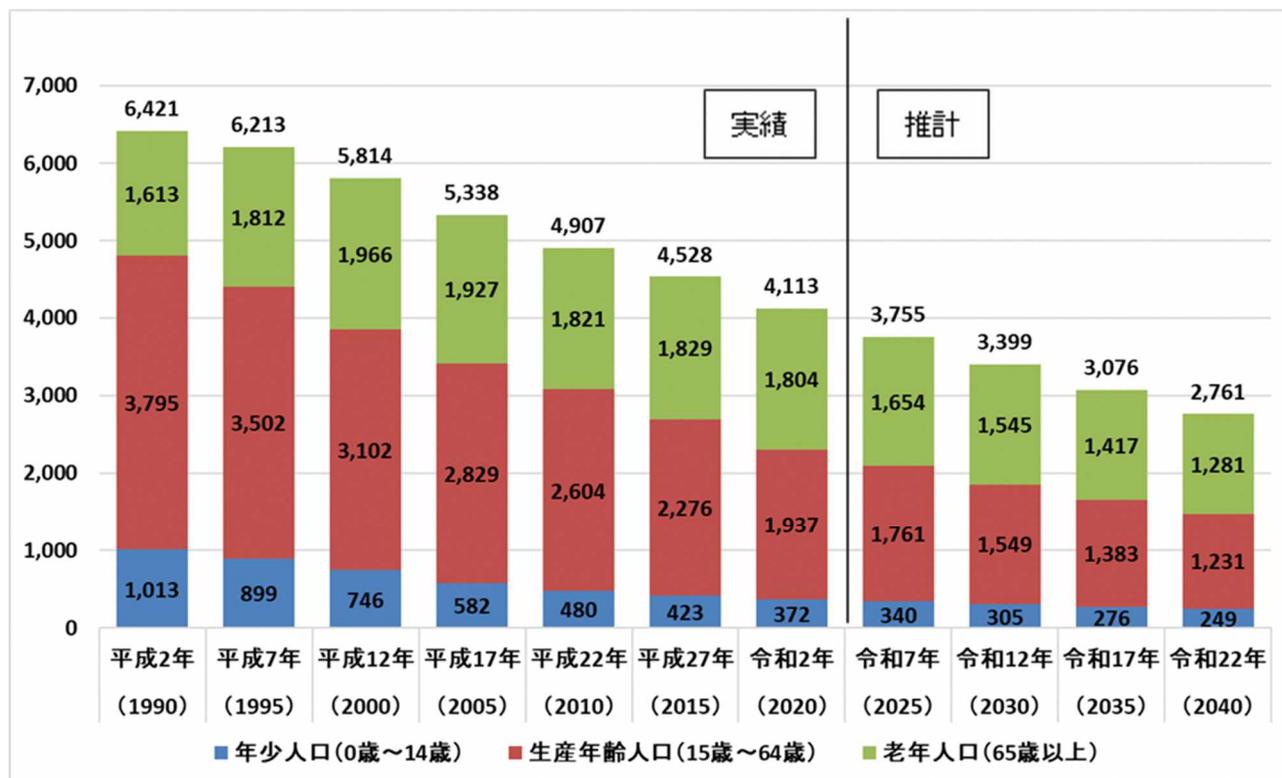
※住民基本台帳（各年1月から12月）

## (2) 将来の人口推計

出雲崎町の年齢3区分人口は、年少人口、生産年齢人口、老年人口とも減少が続  
き、令和2年の国勢調査では高齢化率が43.9%に達しており、新潟県の32.8%を  
大きく上回っています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、第6次出雲崎町総合計画の最  
終年度である令和12年には、総人口は約3,400人に減少し、高齢化率は45%を超  
えるとされており、さらに令和22年には3,000人を下回る見込みで、今後も人口  
減少、少子高齢化が進むと予測されています。

出雲崎町の地域公共交通を主に利用している高校生(年度年齢16歳から18歳)  
については、令和5年度の101人から令和10年度には81人に減少する見込み  
となっています。



※令和2年までは国勢調査確定値、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」の推計値。

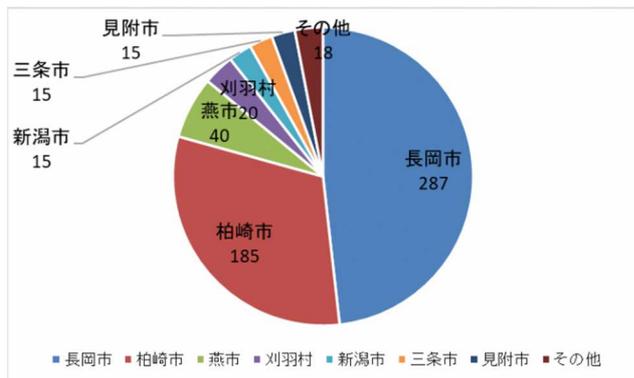
※平成22年は、年齢別人口に年齢不詳を含まないため、年齢別人口の和は総人口に一致しない。

※令和2年は、年齢別人口について不詳補完値により算出。

### 3 日常生活圏

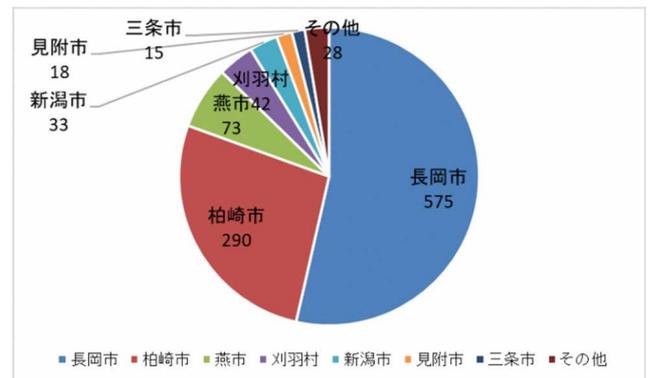
#### (1) 就業者

令和2（2020）年の15歳以上の就業者の出雲崎町への流入人口は、595人で、長岡市（287人）が約半数を占めており、続いて柏崎市（185人）となっています。出雲崎町からの流出人口は1,075人で、長岡市が575人、続いて柏崎市が290人です。就業者全体では、480人の流出超過となっています。



出雲崎町への流入人口（595人）

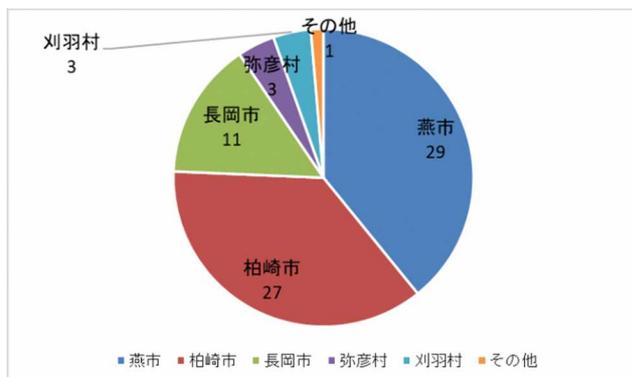
※令和2年国勢調査（15歳以上就業者）



出雲崎町からの流出人口（1,075人）

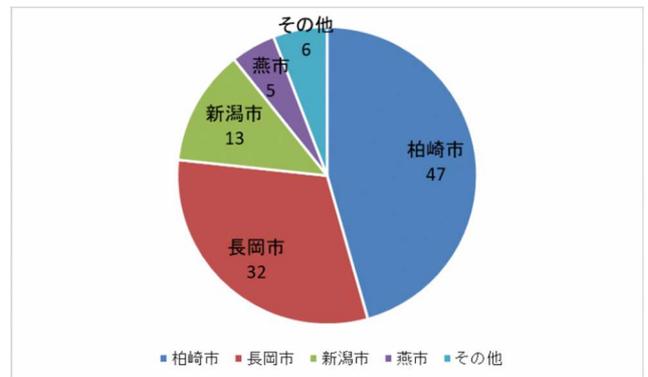
#### (2) 通学者

令和2（2020）年の通学者（15歳未満含む）の出雲崎町への流入人口は、74人で燕市（29人）、柏崎市（27人）で約75%を占めており、いずれも出雲崎高校への通学者となっています。出雲崎町からの流出人口は、103人で、柏崎市（47人）が約半数で、続く長岡市（32人）と合わせると約75%となり、通学者全体では、29人の流出超過となっています。



出雲崎町への流入人口（74人）

※令和2年国勢調査（15歳未満通学者を含む通学者）

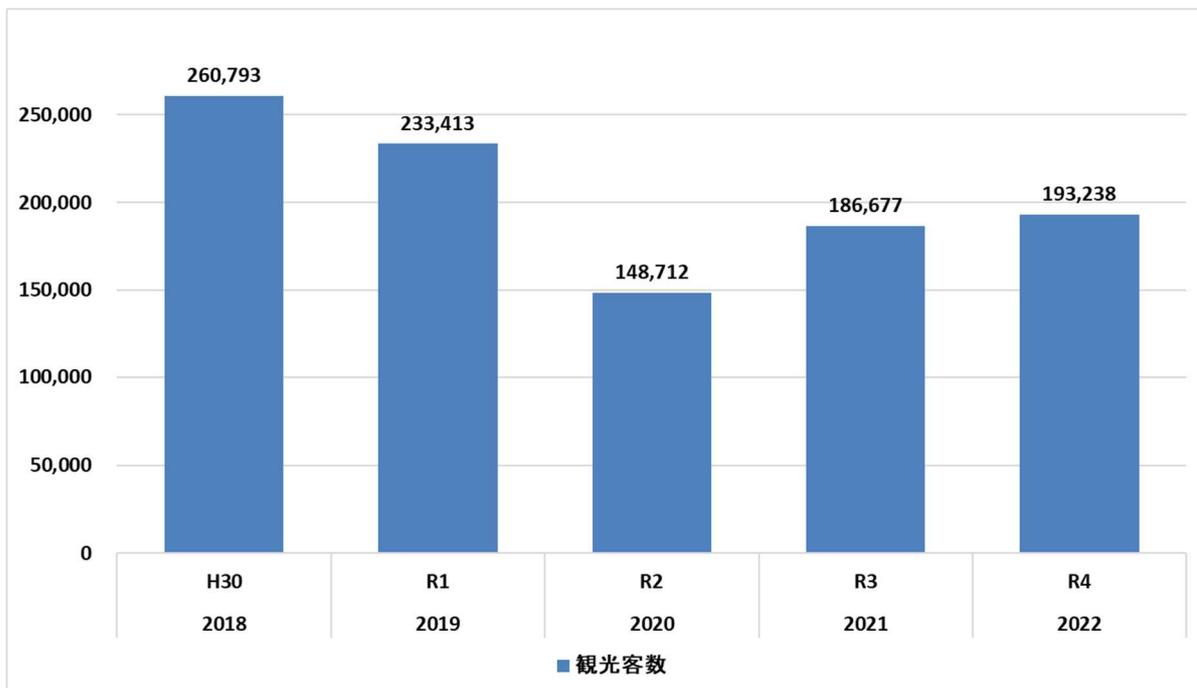


出雲崎町からの流出人口（103人）

## 4 観光

出雲崎町の観光客数は、コロナ禍前は、260,000人となっていました。令和2(2020)年には、150,000人を下回り観光業に大きな影響をもたらしました。令和3(2021)年から令和4(2022)年にかけては、観光客数が増加傾向となっています。

町内の観光施設の中心として「道の駅越後いずもさき天領の里」があり、出雲崎町に訪れる観光客数の約30%が訪れています。

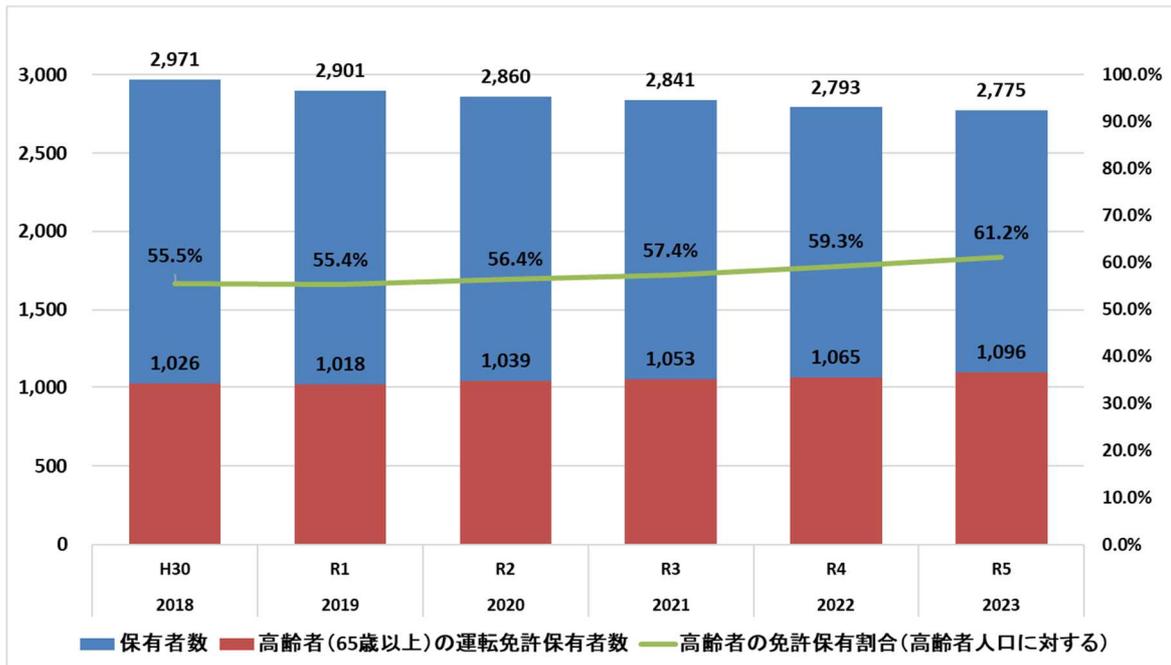


新潟県観光入込客統計調査

## 5 運転免許証の保有状況等

### (1) 運転免許証の保有状況

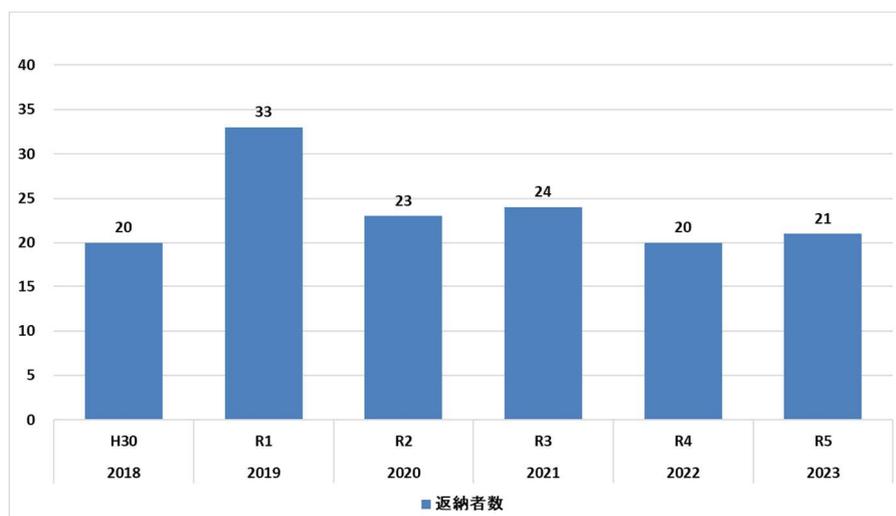
人口減少とともに運転免許証の保有者数は減少していますが、高齢者（65歳以上）の保有者数は増加しています。また、高齢者人口（65歳以上）に対する高齢者の免許保有状況は、近年、増加傾向となっており、高齢者の約6割が免許証を保有しています。



※市町村別交通事故発生状況（新潟県警察本部交通部交通企画課）（各年1月～12月）

### (2) 運転免許証の返納状況

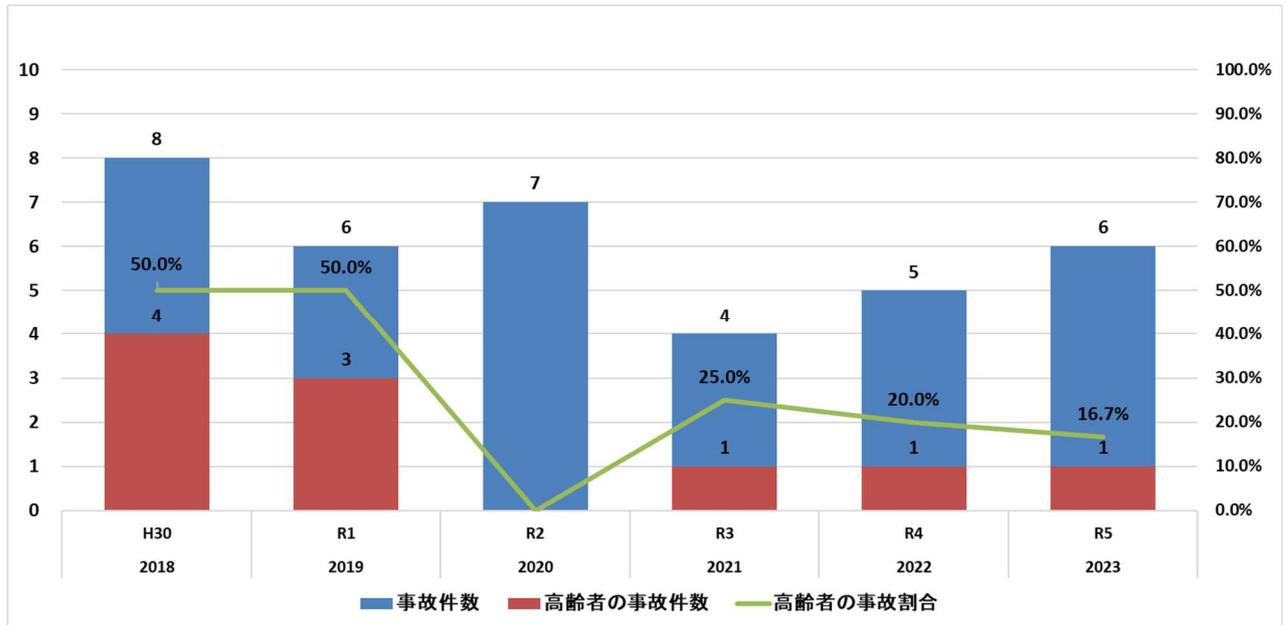
運転免許証の返納状況は下図のとおりで、近年は横ばいとなっています。出雲崎町交通安全協会では、運転免許返納時における与板警察署までの往復タクシー料金の補助（上限1万円）を実施しています。



※新潟県運転免許センター把握状況（各年1月～12月）

### (3) 交通事故の発生状況

近年の出雲崎町での交通事故の発生状況は、横ばいで推移していますが、65歳以上の高齢者が関わる交通事故の発生状況は減少しています。



※市町村別交通事故発生状況（新潟県警察本部交通部交通企画課）（各年1月～12月）



**■鉄道（東日本旅客鉄道（株））**

- JR越後線 柏崎～新潟 出雲崎駅（無人）・小木ノ城駅（無人）

**■路線バス（越後交通（株））**

- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| ○出雲崎車庫－長岡駅前線  | ※国県補助及び町単補助 | } 令和6年3月で廃止 |
| ○出雲崎車庫－柏崎駅前線  | ※町単補助       |             |
| ○出雲崎車庫－出雲崎駅前線 | ※町単補助       |             |
| ○出雲崎車庫－大寺線    | ※町単補助       |             |

**■にしやま・いずもざき通勤通学ライナー（株）大和タクシー）**

- 天領の里－柏崎駅前 定時定路線型

**■デマンド交通（（有）出雲崎交通）**

- 出雲崎町内一円

**■タクシー（（有）出雲崎交通）**

- 旧三島郡（旧越路町を除く。）

**■福祉有償運送（NPO 法人ねっとわーくさぷらい）**

- 出発地点あるいは到着地点が出雲崎町内

**■スクールバス**

- 小学校児童 通年利用
- 中学校生徒 冬期間利用（12月～3月）

# 1 鉄道

## (1) 運行状況

出雲崎町では、JR越後線の柏崎方面が9便/日、吉田方面が10便/日で、朝、夜の通勤、通学の時間帯には、約1時間間隔で運行されています。ここ数年の運行状況と比較すると便数の減少等の大きな変更はありません。

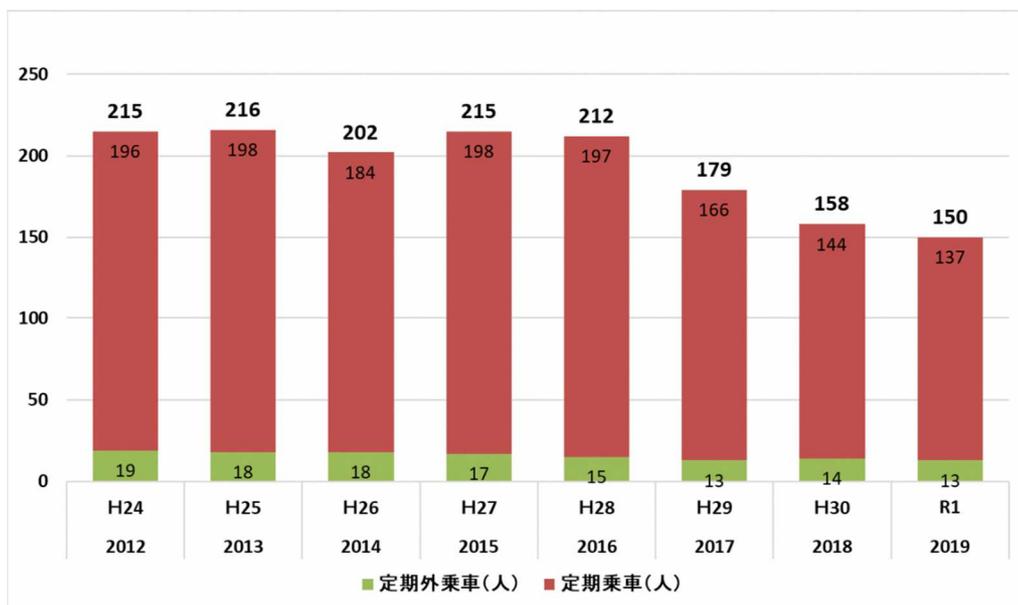
### 出雲崎駅（小木ノ城駅 妙法寺駅）電車時刻表

令和6年（2024年）3月16日 改正

上り（柏崎方面）				下り（吉田方面）			
妙法寺	出雲崎	小木ノ城	行先 着時刻	小木ノ城	出雲崎	妙法寺	行先 着時刻
6:22	6:27	6:30	柏崎 7:08	6:02	6:05	6:10	吉田 6:44
7:19	7:24	7:28	柏崎 8:06	6:59	7:02	7:07	東三条 8:03
9:09	9:14	9:17	柏崎 9:49	7:58	8:01	8:06	吉田 8:37
13:00	13:06	13:09	柏崎 13:41	11:16	11:19	11:24	吉田 11:52
16:16	16:21	16:24	柏崎 16:56	12:41	12:44	12:49	新潟 14:56
17:20	17:25	17:29	柏崎 18:01	16:00	16:03	16:08	吉田 16:35
18:32	18:38	18:41	柏崎 19:16	17:56	17:59	18:04	東三条 19:01
19:10	19:16	19:20	柏崎 19:53	19:10	19:16	19:21	吉田 19:48
20:21	20:26	20:29	柏崎 21:01	20:55	20:58	21:03	新潟 22:33
21:58	22:03	—	出雲崎止まり	—	22:08	22:13	新潟 23:31

## (2) 利用状況

出雲崎町には、JR越後線の「出雲崎駅」、「小木ノ城駅」の2駅があります。出雲崎駅の利用状況は横ばいとなっていました。平成29年度から定期利用が少なくなり利用者が減少しています。



※東日本旅客鉄道 web サイト（各年4月1日）

## 2 路線バス

### (1) 運行状況

出雲崎町では、町内と長岡市を結ぶ路線（長岡駅前～日赤病院・中永～出雲崎車庫前）が7往復／日あります。

町内と柏崎市を結ぶ路線（柏崎駅前～椎谷～出雲崎車庫前）と町内を運行する2路線（出雲崎車庫前～出雲崎駅～大寺線、出雲崎車庫前～小竹～出雲崎駅前線）がありましたが、令和6年3月に廃止となりました。

近年は、人口減少、少子化に伴う利用者の減少により、町内と町外を結ぶ路線の便数が減少しており、路線バスの運行の維持が難しくなっています。

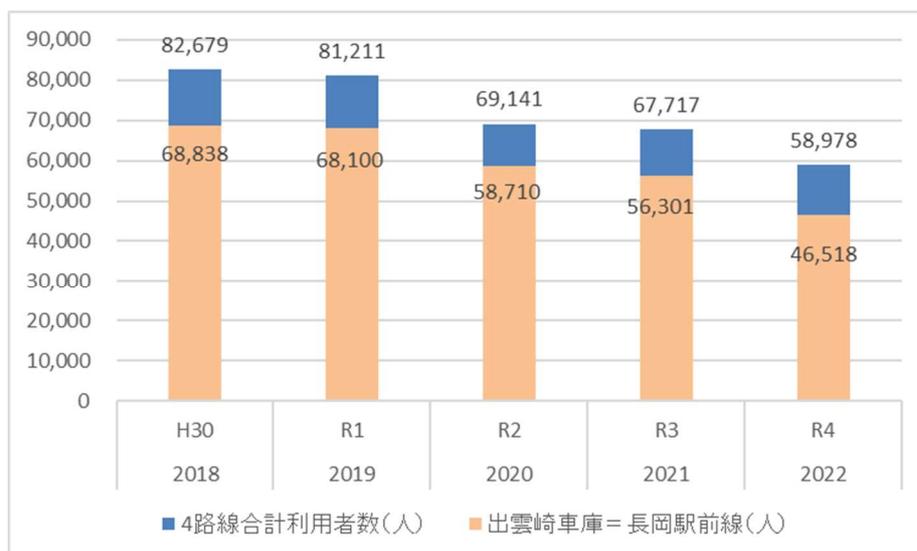
### バス時刻表

令和6年（2024年）4月1日 改正  
出雲崎車庫 = 出雲崎駅 = 長岡駅線

出雲崎車庫	出雲崎駅前	長岡駅	長岡駅	出雲崎駅前	出雲崎車庫
6:35	6:45	7:31	7:35	8:23	8:30
8:50	9:00	9:46	9:10	9:55	10:05
10:15	10:25	11:11	11:55	12:40	12:50
13:50	14:00	14:46	☆14:10	14:55	15:05
☆16:25	16:35	17:21	16:25	17:10	17:20
17:50	18:00	18:46	17:30	18:15	18:25
Ⓔ ☆19:10	19:20	20:06	Ⓔ ☆19:20	20:05	20:15

### (2) 利用状況

出雲崎町を運行する4路線の利用者は、年々減少しており、令和2（2020）年から令和4（2022）年にかけてコロナ禍により利用者が減少しています。

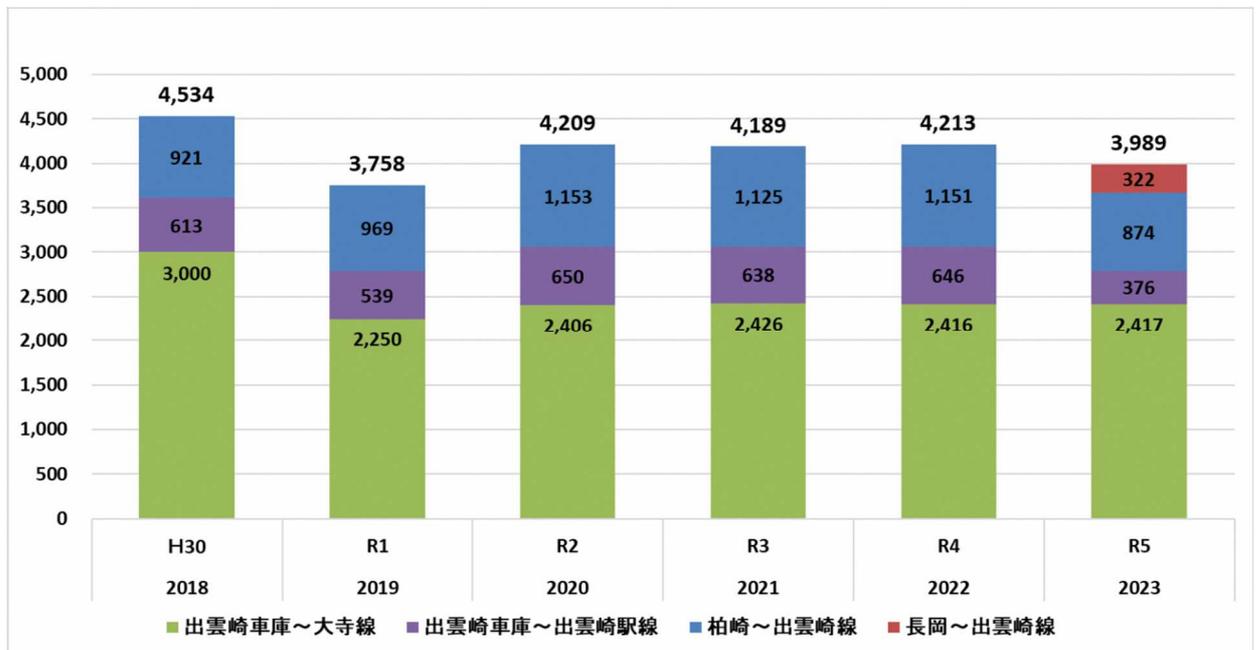


※越後交通（各年10月1日～9月30日） 4路線分合計利用者数

### (3) 補助金等の交付状況

町内の4路線の持続的な運行を支援するため、運行事業者に対する町から交付する補助金は次のとおりです。令和5(2023)年からは、国庫補助路線である長岡～出雲崎線が低収益路線となったことから新たに補助金を交付しています。

(千円)



※出雲崎町 (各年10月1日～9月30日)

### 3 にしやま・いずもざき通勤通学ライナー

#### (1) 運行状況

路線バス「柏崎駅前～椎谷～出雲崎車庫前線」の廃止に伴い、代替交通として令和6年4月1日から運行が開始されました。

運行事業者	(株)大和タクシー
運行形態	定時定路線型（バス停留所からの乗降、予約不要）
運行区域	道の駅天領の里（出雲崎町）～柏崎駅前
運行時間	1便：天領の里 7:05 発 → 柏崎駅前：7:55 着 ※椎谷～柏崎駅前区間は「降車」のみ 2便：柏崎駅前 16:30 発 → 天領の里：17:20 着 ※柏崎駅前～椎谷区間は「乗車」のみ
運賃	600円（小学生：300円、乳幼児は無料）
運行日	月～金曜日 ※ただし、祝日、12/29～1/3は除く

#### (2) 運行費

運行費は、出雲崎町と柏崎市が負担しています。令和6年度の予算額は出雲崎町が1,122千円、柏崎市が2,618千円となっています。

## 4 デマンド交通

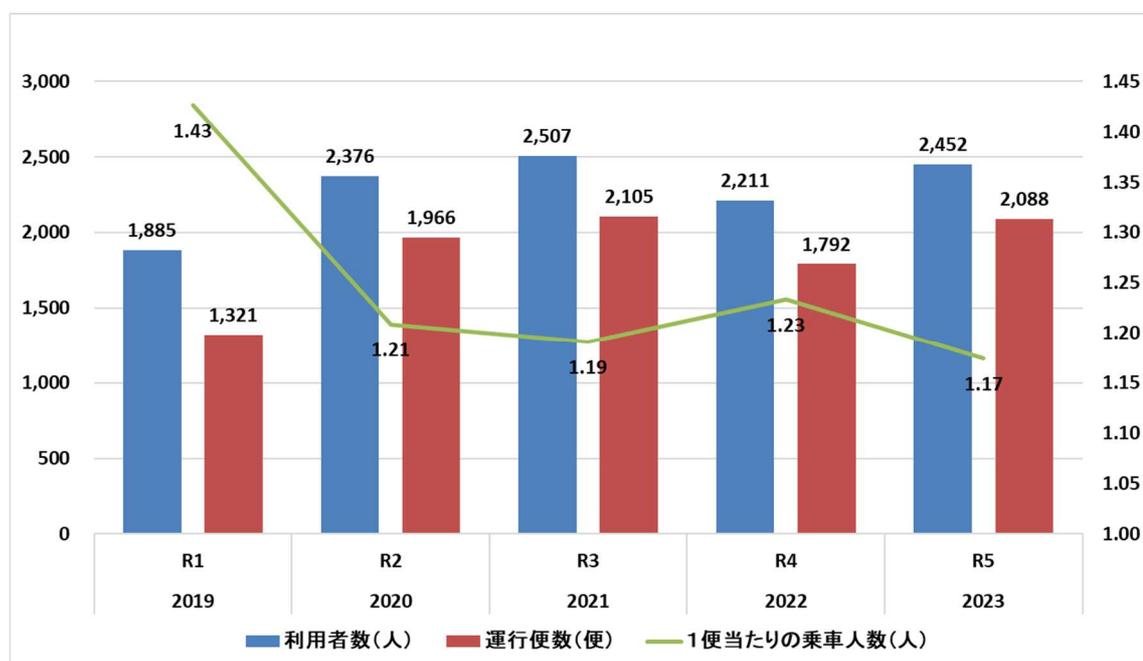
### (1) 運行状況

平成31年4月から町民の公共交通手段を確保するとともに、地域の活性化を図るため、道路運送法第21条によるデマンド交通「てまりん」の運行を開始しました。令和4年4月からは、同法第4条による本格運行を開始しました。

運行事業者	(有)出雲崎交通
運行形態	完全デマンド（ドア・ツー・ドア型）
運行区域	出雲崎町内
運行時間	午前8時～午後6時 ※予約に応じて30分毎に1日21便運行
運賃	大人：500円/回、小中高生：100円/回
運行日	12月31日から翌年の1月3日までを除く、毎日

### (2) 利用状況

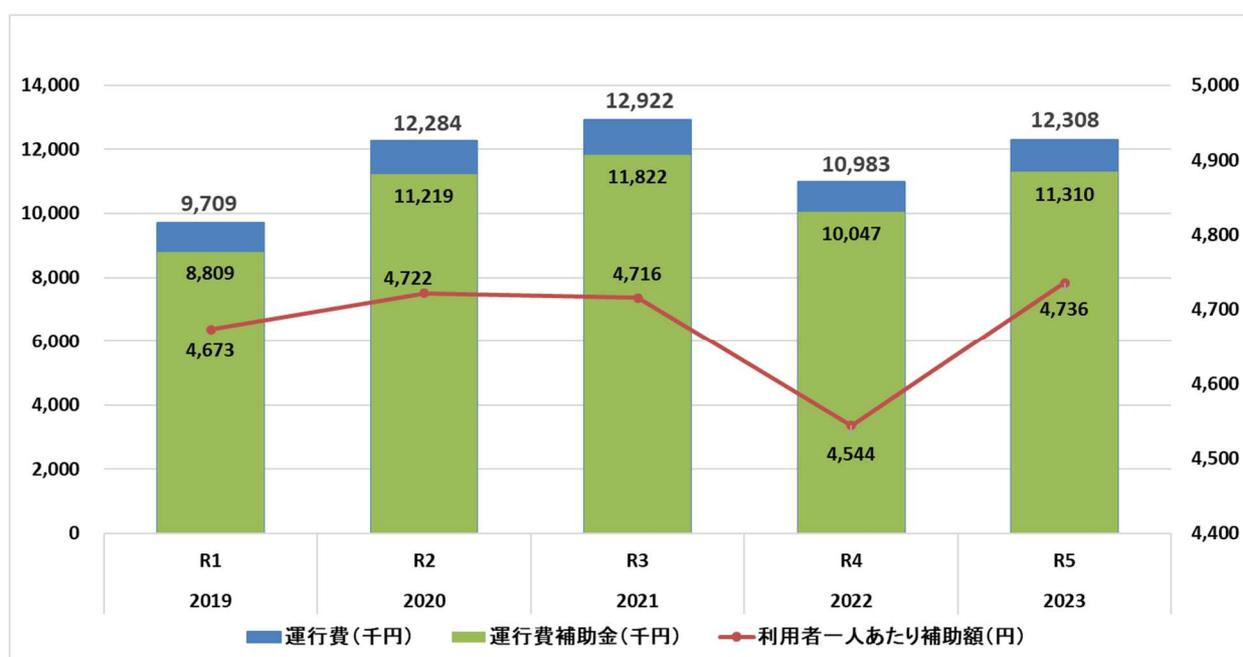
平成31（2019）年度から運行を開始し、令和2（2020）年度からは1日の運行便数を10便から21便に拡大したことにより利用者、運行便数とも増加傾向となっています。



※出雲崎町（各年4月1日～3月31日）

### (3) 補助金等の交付状況

町民の公共交通手段を確保し、地域の活性化を図るため、町が運行を依頼するデマンド型乗合タクシーの事業主体であるタクシー事業者に対し、補助金を交付しています。令和2（2020）年度からは1日の運行便数を10便から21便に拡大したことにより補助金額が増加しています。その後は利用者数に応じて増減しています。



※出雲崎町（各年4月1日～3月31日）

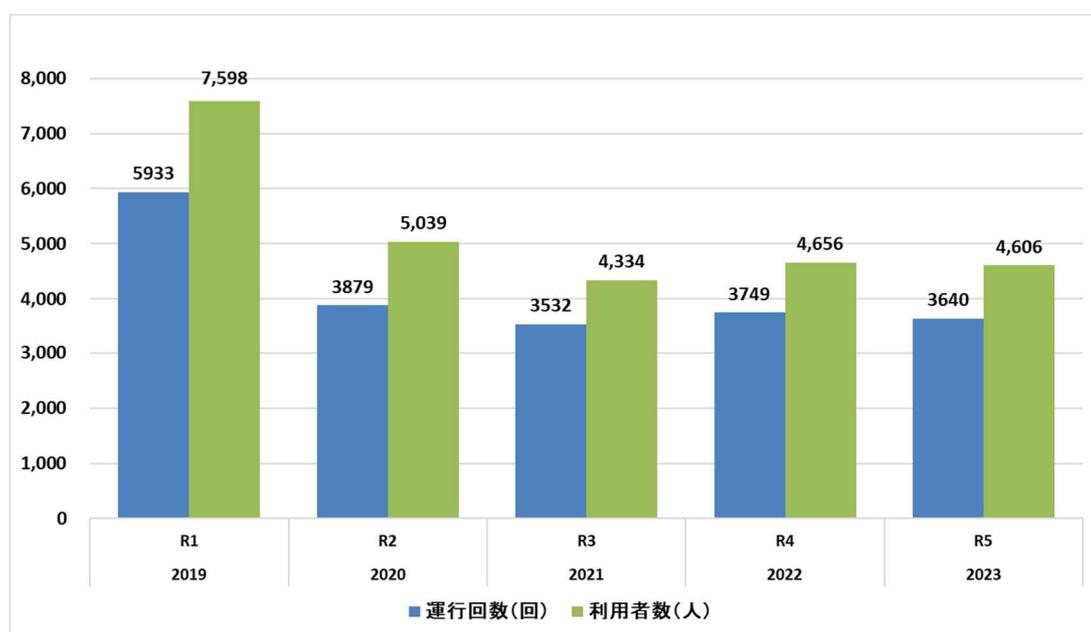
## 5 タクシー

### (1) 運行状況

出雲崎町内には、タクシー事業者が1社あり、車両数は4台で月曜から土曜の8時から19時30分を営業時間として運行しています。利用者の減少や運転手不足により、夜間及び日曜は、営業をしていません。

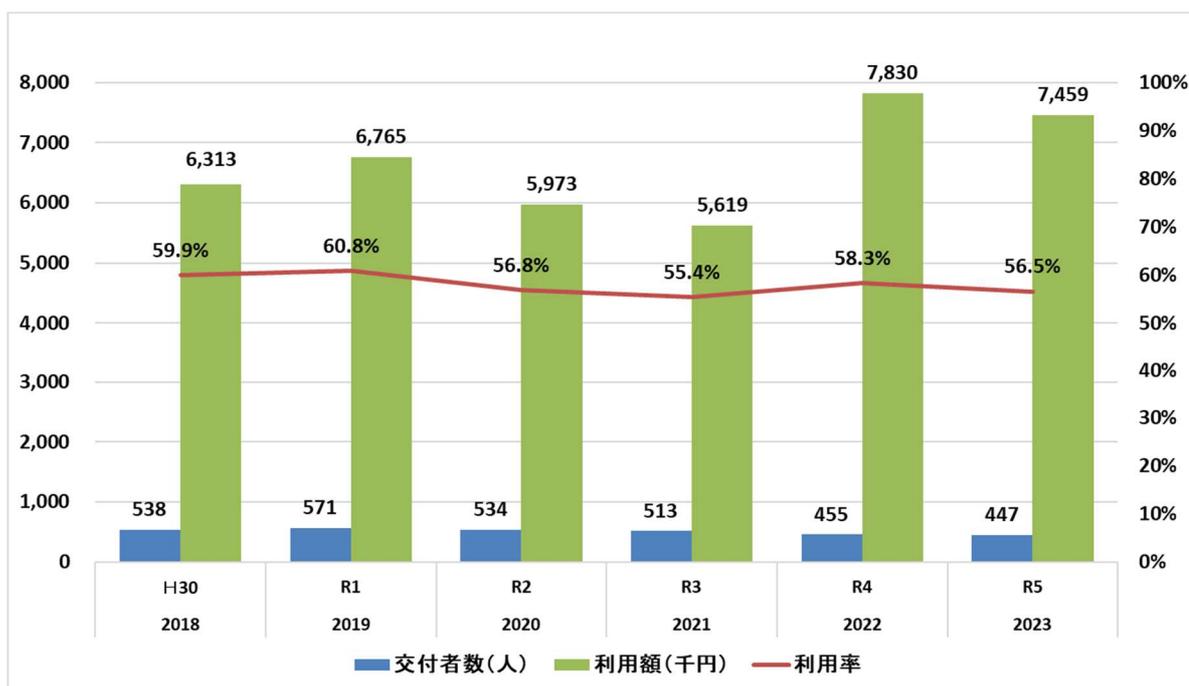
### (2) 利用状況

運行回数、利用人員とも減少しており、特に令和2（2020）年からのコロナ禍により、大きな影響を受けています。



### (3) 補助金等の交付状況

運転免許を持たない65歳以上の高齢者及び障がい者等に対し年間30,000円(500円券×60枚)の利用券を交付し、社会参加の促進と健康増進とともに、タクシー等の利用促進を図っています。利用できるタクシー事業者は、出雲崎町が1社、長岡市が11社、柏崎市・刈羽村が5社の合計17社です。また、出雲崎車庫～長岡駅前線の路線バスの利用も可能となっています。



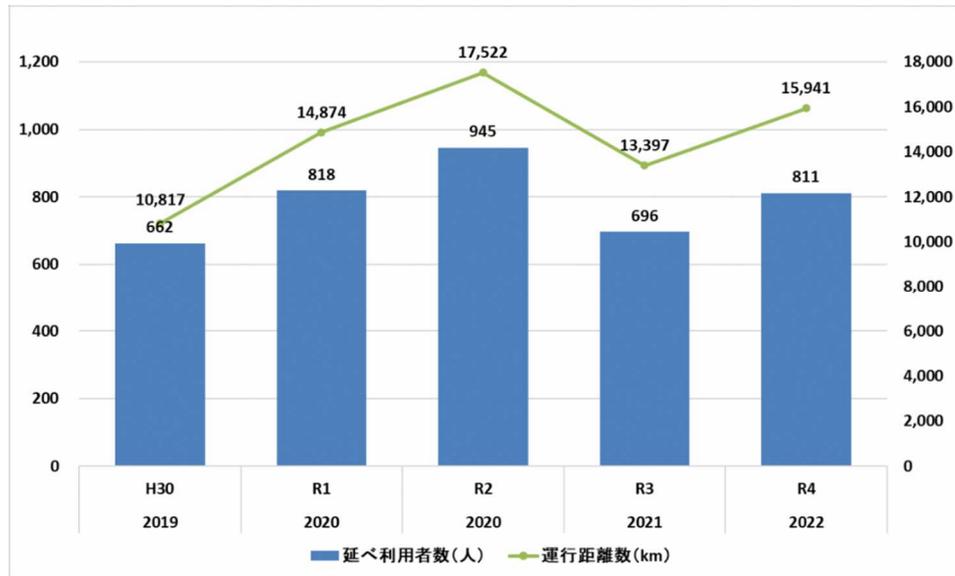
※出雲崎町（各年4月1日～3月31日）

R3までは1人2万円/年が交付され、R4からは1人3万円/年が交付されています。

## 6 その他の交通

### (1) 福祉有償運送

出雲崎町内では、NPO 法人が福祉有償運送事業者として、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障がい者の移動を支えています。

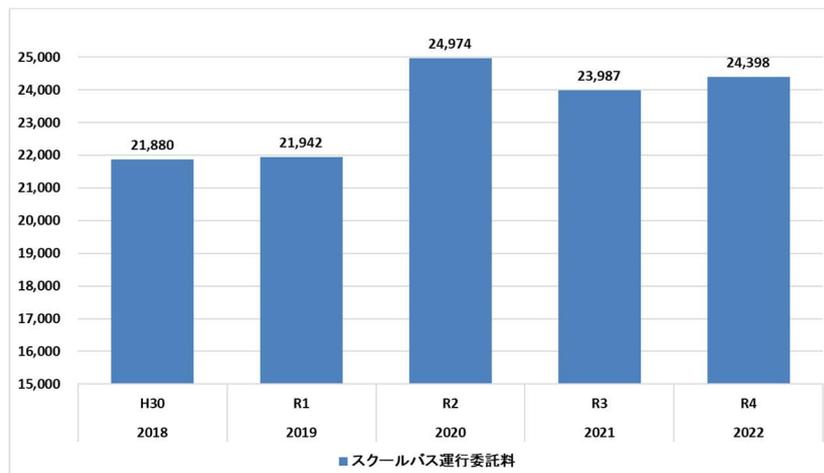


※出雲崎町（各年4月1日～3月31日）

### (2) スクールバス

出雲崎小学校及び出雲崎中学校への通学のためスクールバスを3台運行しています。小学校の児童は、通年利用となっており、中学校の生徒は、冬期間（12月～3月）のみ利用可能となっています。

スクールバスは長期休暇を除く平日に毎日運行していることから公共交通の代替手段として、混乗や登校、下校時以外の時間帯の利用可能性を検討することも重要となります。



※出雲崎町（3台運行分、R1から中学生混乗）

## 第4章 地域公共交通に関するアンケート調査

### 1 アンケート調査の概要

町民の外出状況や公共交通の利用状況などを把握するとともに、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

目的	町民の移動手段の確保・維持を図るため、公共交通の在り方を取りまとめ、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープランである「出雲崎町地域公共交通計画」を策定するため
配布対象・配布数	年度年齢 16 歳から 18 歳の町民全員 101 人 年度年齢 19 歳以上の町民 1,000 人（無作為に抽出）
配布・回収方法	アンケート調査票を郵送により送付し、郵送回答（返信用封筒）又はインターネット回答により回収
調査期間	令和 5 年 7 月 28 日（金）～8 月 31 日（木）
回答者数	① 年度年齢 16 歳から 18 歳の町民全 37 人（回答率 36.6%） （郵送回答：18 人 web 回答：19 人）  ② 年度年齢 19 歳以上の町民 539 人（回答率 53.9%） （郵送回答：492 人 web 回答：47 人）
調査項目	① 年度年齢 16 歳から 18 歳 （1）回答者の属性 ・性別、運転免許の有無等 （2）外出の頻度 （3）公共交通の利用頻度 （4）公共交通を利用しない理由 （5）町の交通行政への意見の把握 （6）自由記載  ② 年度年齢 19 歳以上 （1）回答者の属性 ・性別、年齢、運転免許の有無 （2）外出の頻度 （3）公共交通の利用頻度 （4）公共交通を利用しない理由 （5）町の交通行政への意見の把握 （6）自由記載

## 2 アンケート結果の概要

アンケートの調査・分析結果の要旨は以下のとおりです。

### (1) 「年度年齢 16 歳から 18 歳」のアンケート結果

- ・通勤、通学の外出頻度は、「休日を含む毎日」「平日のほぼ毎日」を選択した人が合わせて、94.6%となっており、行先は柏崎市方面が 54.1%、長岡市方面が 27.0%。交通手段は、鉄道 39.0%、送迎による自家用車の利用 39.0%、路線バス 13.6%となっている。
- ・通院、買い物の外出頻度はそれほど高くなく、その際の交通手段は送迎による自家用車の利用が多く、地域公共交通の利用は低くなっている。
- ・鉄道の利用状況は、通学手段等として週 1 回以上使う人が 6 割もいる一方で、利用しない人も 2 割以上いる。また、運行本数について 7 割以上の人が、「不満」・「やや不満」と感じており、運行本数の少なさに不満を感じている。
- ・バスの利用状況では、長岡方面への買い物の際に利用されているが、電車と同様に運行本数の少なさに不満を感じている。
- ・てまりんについては、家族等に送迎してもらえたり町内のみでの利用に限られることから利用しない人が多くなっている。

### (2) 「年度年齢 19 歳以上」のアンケート結果

- ・町民の 7 割以上の方が運転免許を保有し、自家用車やバイクを所有している。
- ・通勤・通学、通院、買い物の外出の時の利用が交通手段として公共交通を利用しているのは 1 割程度にとどまり、公共交通の利用頻度は、年 1 回以上の利用が 2 割、利用していない人が 7 割となっていて、自家用車による交通が主となっている。
- ・鉄道の利用状況は、7 割以上の方が利用しておらず、運賃や全体の満足度は低くないものの、運行本数に対し、不満を感じている人が 5 割を超えている。
- ・バスの利用状況では、長岡方面への通院、買い物の際に利用されているが、電車と同様に運行本数の少なさに不満を感じている。
- ・てまりんについては、9 割以上の方が利用したことがないが、利用者の満足度は高く、事業の周知により利用者の拡大が課題となっている。

### (3) 自由記載の内容

(単位：件)

項目	鉄道・バス	デマンド交通	地域公共交通の感想	要望・提案	将来が不安	その他
19歳以上	17	27	33	31	9	18

## 第5章 公共交通の課題の整理

### 1 公共交通の課題

第3章 公共交通の現状、第4章地域公共交通に関するアンケートを踏まえて公共交通の課題を整理すると以下のとおりとなります。

#### 1. 持続可能な運営体制の整備

- ・人口減少は利用者の減少に直接影響することとなります。本町における将来人口などの社会状況を見据えた中で、公共交通を長期的に持続可能なものとするため、行政からの財政支援含めて、運行事業者の体制を整備する必要があります。

#### 2. 地域特性に合わせた地域公共交通の連携強化

- ・地域の状況やニーズに合わせた運行により、利便性を高める必要があります。
- ・毎日運行している交通手段であるスクールバスへの一般の人の混乗による活用等を検討していく必要があります。
- ・限られた交通手段を効率的かつ持続可能な公共交通網を形成するため、各公共交通の連携強化を進める必要があります。
- ・デマンド交通の運用方法の検討や福祉有償運送やタクシー事業者との連携が必要です。

#### 3. 安全・安心かつ快適な利用環境の確保

- ・自家用車が使用できなくても、誰もが安全・安心かつ快適に利用できる環境を整備する必要があります。高校生や高齢者が公共交通を利用しやすい環境整備を図る必要があります。
- ・町民への利用促進を図るため、デマンド交通の利用方法などの分かりやすい情報提供が必要です。
- ・各公共交通の乗換がしやすくなるよう事業者へ要望するとともに出雲崎駅・小木ノ城駅やバス停の環境整備などが必要となっています。

#### 4. まちづくりとの連携

- ・町内の観光・交流施設やイベント等と連携し、公共交通を利用した外出機会を創出する必要があります。また、初めて訪れる人にもわかりやすい案内表示により公共交通を利用しやすい環境整備が必要です。

## 第6章 公共交通計画の目標

### 1 公共交通計画の目標

#### (1) 計画の目標

総合計画の将来像や公共交通の課題を踏まえて、次の3つの目標を設定します。

【目標 1】 地域の実情に応じた持続可能な公共交通サービスを提供する。

- ・重要な役割を担う基幹路線を維持確保します。
- ・地域の特性や住民ニーズを踏まえた持続可能な公共交通を目指します。

【目標 2】 誰もが利用しやすい公共交通を目指す。

- ・高校生や高齢者、障害者、来訪者など誰でも利用しやすい公共交通を目指します。
- ・観光施策と連携し、よりきめ細やかな情報提供を行い、身近な公共交通を目指します。

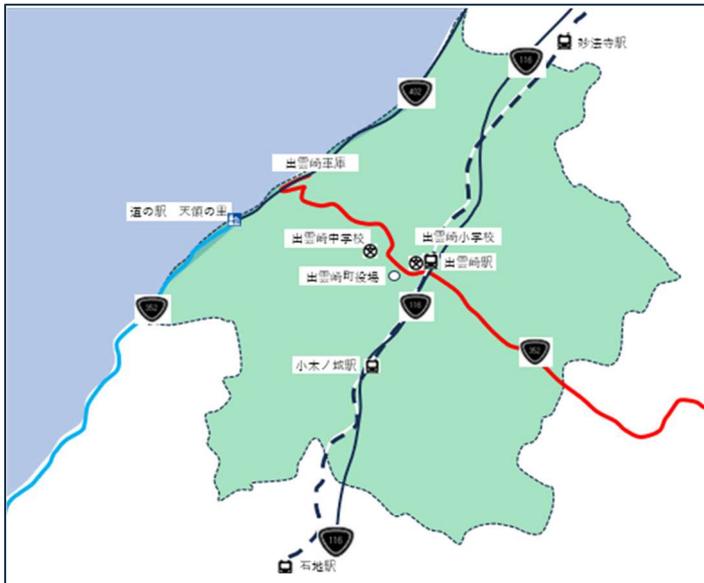
【目標 3】 町民、交通事業者、行政で連携を深め「地域の足」を確保する。

- ・行政や事業者だけでなく、住民も一体となって支える公共交通を目指します。

## 2 出雲崎町が目指す公共交通の体系

### (1) 出雲崎町が目指す公共交通の体系

各公共交通機関が、それぞれの特性に応じて役割を分担し、持続可能な公共交通体系を目指します。



凡 例	
-----	JR 越後線
—————	路線バス 出雲崎車庫－長岡駅前線 (国庫補助対象路線)
—————	にしまつ・いづもざき 通勤通学ライナー
■	デマンド交通運行エリア

## ■国庫補助を活用する対象路線

交通体系	系統名	事業許可	実施主体	補助事業	補助事業の必要性
路線バス	出雲崎車庫 ～長岡駅前	4条乗合	越後交通㈱	地域公共交通 確保維持事業 (幹線補助)	<p>出雲崎町から長岡市の拠点間を運行し、通勤、通学、買い物、通院等の日常生活での利用だけでなく、観光、ビジネス等、多様な目的での利用を担う。長岡赤十字病院前や出雲崎駅前を経由するなど、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>

## 第7章 目標達成するために行う施策

### 1 事業の詳細

前章で設定した目標を達成するために以下の事業に取り組みます。

事業	① 路線バス「出雲崎車庫～長岡駅前線」の確保維持事業																															
現状	出雲崎町と長岡駅を結ぶ路線バスは住民の足となっていますが、人口減少に伴い利用者は年々減少しており、運行本数も減り利便性も下がるという負のスパイラルに陥っています。																															
事業内容	<p><b>【事業①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者、障がい者向けのバス・タクシー利用助成券の交付や高校生の定期券購入補助事業を継続して実施し、利用促進を図ります。</li> </ul> <p><b>【事業②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹路線として維持するため、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金等を確保しながら維持を図っていきます。</li> </ul> <p><b>【事業③】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の利便性向上に向けバス停等の環境整備を行うとともに、観光施設利用者やイベント参加者に対し、公共交通の利用を呼びかけ、利用者の拡大に努めます。</li> </ul>																															
事業主体	国、新潟県、出雲崎町、交通事業者																															
実施工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業①</td> <td>継続実施 ●————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業②</td> <td>継続実施 ●————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業③</td> <td>継続実施 ●————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	事業①	継続実施 ●————→					事業②	継続実施 ●————→					事業③	継続実施 ●————→							
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																											
事業①	継続実施 ●————→																															
事業②	継続実施 ●————→																															
事業③	継続実施 ●————→																															
評価指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>当初現況値</th> <th>目標値</th> <th>データ取得方法・測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バス利用者数</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 2,417人 (R5)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 2,400人 (R10)</td> <td rowspan="2">バス事業者保有の 利用者データ</td> </tr> <tr> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R6)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バス路線の本数</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R6)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R10)</td> <td rowspan="2">バス事業者の運行本数</td> </tr> <tr> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率53.0% (R5)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率50.0% (R10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バス収支率</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率53.0% (R5)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率50.0% (R10)</td> <td rowspan="2">バス事業者保有の収支データ 経常収益÷経常費用</td> </tr> <tr> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 322千円 (R5)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 300千円 (R10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">町補助金額</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 322千円 (R5)</td> <td>出雲崎車庫～長岡駅前線 300千円 (R10)</td> <td rowspan="2">町予算の決算額 補助金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法	バス利用者数	出雲崎車庫～長岡駅前線 2,417人 (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 2,400人 (R10)	バス事業者保有の 利用者データ	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R6)	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R10)	バス路線の本数	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R6)	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R10)	バス事業者の運行本数	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率53.0% (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率50.0% (R10)	バス収支率	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率53.0% (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率50.0% (R10)	バス事業者保有の収支データ 経常収益÷経常費用	出雲崎車庫～長岡駅前線 322千円 (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 300千円 (R10)	町補助金額	出雲崎車庫～長岡駅前線 322千円 (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 300千円 (R10)	町予算の決算額 補助金額		
評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法																													
バス利用者数	出雲崎車庫～長岡駅前線 2,417人 (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 2,400人 (R10)	バス事業者保有の 利用者データ																													
	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R6)	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R10)																														
バス路線の本数	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R6)	出雲崎車庫～長岡駅前線 7往復/日 (R10)	バス事業者の運行本数																													
	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率53.0% (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率50.0% (R10)																														
バス収支率	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率53.0% (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 経常収支率50.0% (R10)	バス事業者保有の収支データ 経常収益÷経常費用																													
	出雲崎車庫～長岡駅前線 322千円 (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 300千円 (R10)																														
町補助金額	出雲崎車庫～長岡駅前線 322千円 (R5)	出雲崎車庫～長岡駅前線 300千円 (R10)	町予算の決算額 補助金額																													

事業	② 「JR越後線」活性化事業																						
現状	出雲崎町と近隣自治体を結ぶ公共交通として、路線バスだけでなく、鉄道も運行されていますが、利用者が減少しており、運行本数の減少はサービス低下となっています。																						
事業内容	<p><b>【事業①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の定期券購入補助事業を継続して実施するとともに、交通事業者や県、沿線自治体と各種協議会で連携し、利用促進に取り組みます。</li> </ul> <p><b>【事業②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光施設利用者やイベント参加者に対し、公共交通の利用を呼びかけ、利用者の拡大に努めます。また、駅前や周辺でのイベントを検討・実施します。</li> </ul>																						
事業主体	国、新潟県、出雲崎町、交通事業者																						
実施工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業①</td> <td>継続実施 </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業②</td> <td>継続実施 </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	事業①	継続実施 					事業②	継続実施 				
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																		
事業①	継続実施 																						
事業②	継続実施 																						
評価指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>当初現況値</th> <th>目標値</th> <th>データ取得方法・測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">越後線の運行本数</td> <td>越後線 上り下り合計 19便/日 (R6)</td> <td>越後線 上り下り合計 19便/日 (R10)</td> <td rowspan="2">鉄道事業者の運行本数</td> </tr> <tr> <td>イベント実施回数 0回/年</td> <td>実施回数 1回/年</td> <td>町担当課の把握数</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法	越後線の運行本数	越後線 上り下り合計 19便/日 (R6)	越後線 上り下り合計 19便/日 (R10)	鉄道事業者の運行本数	イベント実施回数 0回/年	実施回数 1回/年	町担当課の把握数							
評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法																				
越後線の運行本数	越後線 上り下り合計 19便/日 (R6)	越後線 上り下り合計 19便/日 (R10)	鉄道事業者の運行本数																				
	イベント実施回数 0回/年	実施回数 1回/年		町担当課の把握数																			

事業	③ 地域の実情に応じた公共交通サービスの維持、向上																											
現状	デマンド交通、タクシー、福祉有償運送は、鉄道やバスなどの基幹路線への接続や公共交通空白地域を解消し住民の生活の足として重要な交通機関ですが、運行維持には利用者の増加が必要となっています。																											
事業内容	<p>【事業①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ・パンフレットの作成・配布や説明会の実施等の普及啓発活動を行い、利用者の拡大を図ります。</li> </ul> <p>【事業②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド交通の運行状況や利用者のニーズ、地域の実情も踏まえて、必要に応じて運行内容を見直していきます。</li> </ul> <p>【事業③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーや福祉有償運送の利便性向上に向け、事業者と運行方法について協議し支援策を検討します。</li> </ul>																											
事業主体	出雲崎町、交通事業者																											
実施工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業①</td> <td>継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業②</td> <td>事業検討</td> <td></td> <td>事業実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業③</td> <td>継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	事業①	継続実施					事業②	事業検討		事業実施			事業③	継続実施				
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																							
事業①	継続実施																											
事業②	事業検討		事業実施																									
事業③	継続実施																											
評価指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>当初現況値</th> <th>目標値</th> <th>データ取得方法・測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">デマンド交通利用者数</td> <td>年間利用者数</td> <td>年間利用者数</td> <td rowspan="2">運行事業者保有の 利用者データ</td> </tr> <tr> <td>2,452人 (R5)</td> <td>2,500人 (R10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タクシー利用者数</td> <td>年間利用者数</td> <td>年間利用者数</td> <td rowspan="2">運行事業者保有の 利用者データ</td> </tr> <tr> <td>4,606人 (R5)</td> <td>4,600人 (R10)</td> </tr> </tbody> </table>				評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法	デマンド交通利用者数	年間利用者数	年間利用者数	運行事業者保有の 利用者データ	2,452人 (R5)	2,500人 (R10)	タクシー利用者数	年間利用者数	年間利用者数	運行事業者保有の 利用者データ	4,606人 (R5)	4,600人 (R10)								
評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法																									
デマンド交通利用者数	年間利用者数	年間利用者数	運行事業者保有の 利用者データ																									
	2,452人 (R5)	2,500人 (R10)																										
タクシー利用者数	年間利用者数	年間利用者数	運行事業者保有の 利用者データ																									
	4,606人 (R5)	4,600人 (R10)																										

事業	④ 新しい技術の導入を検討																						
現状	出雲崎町内の公共交通の維持、効率化に向けて新しい技術の導入について検討を進めていく。																						
事業内容	<p>【事業①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済や自動運転EVなどの新しい技術の導入による効率化について検討します。</li> </ul> <p>【事業②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライドシェアなどの地域にあった新しい公共交通の導入について検討します。</li> </ul>																						
事業主体	国、新潟県、出雲崎町、交通事業者																						
実施工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業①</td> <td>事業検討 ●—————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●—————→ 事業実施</td> </tr> <tr> <td>事業②</td> <td>●—————→ 事業検討</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●—————→ 事業実施</td> </tr> </tbody> </table>						R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	事業①	事業検討 ●—————→				●—————→ 事業実施	事業②	●—————→ 事業検討				●—————→ 事業実施
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																		
事業①	事業検討 ●—————→				●—————→ 事業実施																		
事業②	●—————→ 事業検討				●—————→ 事業実施																		
評価指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>当初現況値</th> <th>目標値</th> <th>データ取得方法・測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規導入数</td> <td>—</td> <td>1件 (R10)</td> <td>町担当課の把握数</td> </tr> </tbody> </table>					評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法	新規導入数	—	1件 (R10)	町担当課の把握数										
評価指標	当初現況値	目標値	データ取得方法・測定方法																				
新規導入数	—	1件 (R10)	町担当課の把握数																				